

狭山が発祥の地

童句

入選(第11回童句まつり)

踏切を 待たずに蝶は 越えていき

酒井 好子

れんげ草 母と揃いの 首飾り

奥井 八重子

図書館の 本積み上げて 夏休み

寺本 桂子

自転車の 鍵見つからず 雪もよい

辻 ひと子

さかあがり 出来た日の空

大野 美千恵

※童句は、土家由岐雄氏が創始し、全国に広がりました。大人が童心に返って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。今月は、5月5日(こどもの日)に智光山公園で行われた第11回童句まつりに、全国から寄せられた作品の中から選ばれた入選10句のうち5句を掲載します

AET CORNER



Martin E. Neuberger(AET)

My name is Martin E. Neuberger, and I am from the United States of America. I have been working as an A.E. T. at Sayamadai Junior High School and have been in Sayama for three years. Living and working in Japan was my dream since my first year in College and now I can't believe my time here is almost over. Time really flies! I still have not climbed Mount Fuji so I know I will be back someday. Through teaching English, I was able to share my interest in computers to the students. After work, I took evening classes at the University Of Maryland in Fussa and received a second degree in Information Systems Management in May. In the States, I will become computer professional for a company in Silicon Valley in the state of California. I plan to continue studying the Japanese language and hope to remain involved with Japan by starting a part-time export business and by keeping in contact with the many friends I have made here.



池原 昭治の

さやまの今本



羽黒神社の夏祭り

狭山市駅東口よりバスに乗り、狭山台団地終点で下車、稲荷山を左にながめながら、窪川を渡りますと大きな菩提樹が見えてきます。ここが堀兼の羽黒神社で、七月十四日・十五日は天王さまの祭礼が行なわれます。天王さまのお祭りは、古来より夏の疫病を追い払うために行なわれております。羽黒神社の始まりは、昔奥州の伴蔵人という者が羽黒権現の夢つげのとおり、武蔵の国へやって

来て開拓しました。そのときに村の産土神として羽黒権現を祀ったのだそうです。ご祭神は稲倉魂命ですが、合祀神としては須佐之男命です。これは牛頭天王といひまして、たいへんに荒つぽい神さまで、すべての病気や災害を村から追い払ってくれる神さまとし信仰されてきました。神社の氏子たちが特殊なワラぞうりをつくり、塞ぎとして村の境につるしたこともあったそうです。今は堂内で百万遍の珠数くりの行事が伝承されているのみです。

この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率80%の再生紙を使用しています



[狭山市広報]

VOL.504

◆発行日/平成9年7月10日(毎月10・25日発行)

◆編集・発行/狭山市役所企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川11-23-5

TEL.0429-53-1111(内線396)

FAX.0429-54-6262(行政資料室)

テレホンガイドさやま ☎0120-460-380